

徳教団加入のご案内

Q：徳教団とは？

A：徳教団は、正式には徳島県教職員団体の連合会といたしまして、昭和34年にさき・あ整わ資に成与をの携の資、給与をの携の資、成環の成長の自、しり、成環の成長の自、めであ開教のち、す。ざあり、成環の成長の自、まを体で展にちのち、い化団運のた誇り、い常員運のた誇り、と正職な育に、会のた育現、合育のた育現、連教づ合法高、団ち、基にの教、員か法に常質、職分員法に常質、教を務挙げ、島と地方をた、徳組と地方をた、正日は教組と地方をた、向する日は教組と地方をた、政治的に偏る維持改善、れました。徳教団は、地力総力を注いで、勤務条件の維持改善、きましました。ま、備にも力を注いで、る自らの労働者で、質向上のための研修にも、県内の幼・小・中に勤務する教職員で構成される県内最大の教職員団体です。

Q：職員団体加入の必要性は？

A：真に子供たちの為の教育を実現するために何より大切なことは学校現場の意見を教育施策に反映させることです。学校現場の状況を一番よく知っているのは最前線で職務に励む現場の教職員です。**私達が声を上げなければ何も変わりません。**

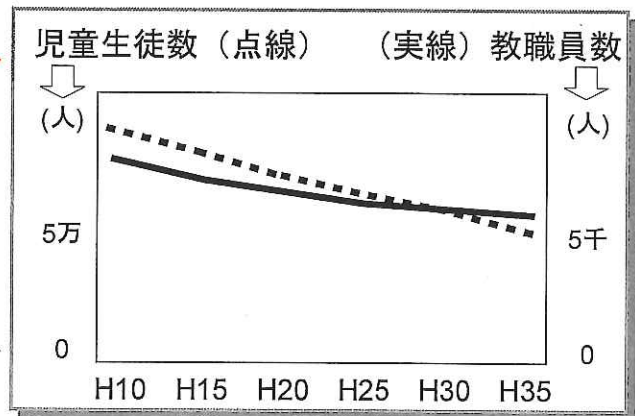
徳教団は、職場訪問での会員の意見を集約し、県や市町村に要望し改善を求めています。

徳島県の児童生徒数は減少の一途をたどることが推測されます。それに伴い教職員数も減少していきます。

(グラフ参照) 現在、徳島県の教職員の4割は40歳後半から50歳代の教職員です。10年、15年後に大きく世代交代したとき、教職員が職務に専念できるような待遇や教育環境を維持改善していく職員団体の役割はますます重要になってきます。

グラフ

徳島県小中学校児童生徒数
教職員数の推移予測



Q：徳教団加入のメリットは？

A：最大のメリットは相互扶助です。多くの会員を有する徳教団だからこそできることがあります。県・市町村に対する要望活動がその一つです。さらに、教職員への外部からの不当な要求や圧力にも組織として対応することでも会員を支えています。そのための**顧問弁護士や支援基金の制度**もあります。

徳教団は、「美しい日本人の心を育てる教職員団体」を基本理念に活動している**全日本教職員連盟**に加盟しています。徳教団会員の声は、国へも届きます。また、**全日本教職員連盟が主催する県外の研修会に無料で参加**できます。全国の仲間と交流することで視野も広がります。

メリットはほかにもまだまだ!

☆その他、徳教団が主催する研修会に無料で参加できます。また、各種福利厚生事業も行っています。

Q：会費は？

A：毎月の本俸に一定の割合をかけた額を会費としています。新規採用者（新卒）で、月額2500円程度になります。会費は、毎月の給与からの引き去りになります。

徳教団の活動原資は会員からの会費です。給与や勤務条件において安心して職務に専念できる環境をつくり出すために互いに助け合う、それが、徳教団という組織なのです。

Q：加入の流れは？

A：次のようになります。

☆ステップ1

・加入届けに必要事項を記入し徳教団本部事務局へ。

☆ステップ2

・勤務校へ徳教団より個人マスター登録用紙が届きます。
会員システム登録に必要で、人事異動の際の資料の基ともなります。
赴任校の徳教団学校委員さんから受け取ってください。

☆ステップ3

・個人マスター登録用紙を記入し、徳教団事務局へ。

☆ステップ4

・勤務校には、徳教団学校委員がいます。学校委員には、紹介連絡をしておきますので声をかけてくれます。

※新年度の学校委員が決まっていない場合もあります。徳教団会員はほぼ県内の全小中学校にいますので、ご心配なく。もし、勤務校に徳教団会員がいない場合は、事務局までご連絡下さい。

☆ステップ5

・事務局に個人マスター登録用紙が届きましたら、事務局から加入記念品をお贈りします。また、毎月情報誌「徳教団情報」「全日教連新聞」が届きます。各種研修会・催しにも奮ってご参加ください。慶弔規定に基づく給付金申請、教育関係のご相談等もご利用ください。



☆わからないことがあったら、事務局（088-633-2131）へ電話してね。事務所は徳島市北田宮の教育会館3階だよ！

徳教団公式キャラクター「きょうちゃん」